



平成26年11月12日
内閣府 沖縄総合事務局

「観光とインフラ展」を開催します

～観光振興に貢献するインフラ整備～

沖縄振興のメインエンジンは「観光」であり、これを支えているのは「インフラ整備」です。

インフラ整備は、道路や空港、港など交通施設の整備だけでなく、首里城や海洋博記念公園、人工ビーチなど観光資源を含む幅広い地域づくりです。

今回、「土木の日」※の関連イベントとして、観光とインフラ展を開催し、観光客1000万人を目指す沖縄において、インフラ整備が如何に観光と関わり、観光振興に不可欠なものかを、パネル20枚を用いて、わかりやすく示しております。

増える観光客のみならず県民にとって安心・安全、便利で質の高いインフラ整備の目指す姿を紹介します。

※土木の日：土木の2文字を分解すると十一と十八になるとことと、土木学会の前身である「工学会」の創立が明治12年(1879)11月18日であることから、11月18日を「土木の日」と制定しました。

**場 所：サンエー那覇メインプレイス
3階中央エレベーター前エントランス**

開催日：平成26年11月15日(土)～平成26年11月16日(日)

問い合わせ先

内閣府沖縄総合事務局開発建設部 那覇市おもろまち2丁目1番1号
那覇第2地方合同庁舎2号館
建設行政課 課長 神長恒範 (直通 866-1908)
建設行政課 課長補佐 宮城一正

観光とインフラ展

～観光振興に貢献するインフラ整備～

沖縄振興のメインエンジンは「観光」であり、これを支えているのは「インフラ整備」です。インフラ整備は、道路や空港、港など交通施設の整備だけでなく、首里城や海洋博記念公園、人工ビーチなど観光資源を含む幅広い地域づくりです。

今回、「土木の日」の関連イベントとして、観光とインフラ展を開催し、観光客1000万人を目指す沖縄において、インフラ整備が如何に観光と関わり、観光振興に不可欠なものかを、わかりやすく示していきます。

増える観光客のみならず県民にとって安心・安全、便利で質の高いインフラ整備の目指す姿を紹介します。



開催日：平成26年11月15日(土)～16日(日)

場 所：サンエー那覇メインプレイス3階エレベーター前エントランス

主催：内閣府沖縄総合事務局

後援：「土木の日」沖縄地区実行委員会、沖縄県、那覇市、国立大学法人琉球大学、(一社)沖縄しまたて協会、(一社)沖縄県建設業協会、(一社)日本建設業連合会九州支部、(一財)沖縄美ら島財団、(一財)沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄経済同友会、NHK沖縄放送局、琉球放送、琉球朝日放送、沖縄テレビ放送、琉球新報社、沖縄タイムス社、沖縄建設新聞